

【団体名】安城市立安城中部小学校

【事業名】家庭に広げよう！エコ☆キッズの輪Ⅱ

【事業の目的】児童が取り組んでいるエコ活動を継続するとともに家庭に広げる。

【実施内容】

昨年度、児童のエコ生活を意識させるとともに、家庭にもエコ生活に関心をもってもらうことを目的に、安城中部小学校の児童一人一人が『エコ☆キッズ』として、活動に取り組んできた。今年もこの活動を継続して行った。ごみの分別や節電、リサイクル活動などは、日常化してきている。

10月には全校で『環境集会』を開いた。児童会環境委員会が中心となって企画し、ごみの分別やエコバッグの使用などを全校に訴えた。昨年度作成したオリジナルのエコバッグを、1年生や転入生に配布し、児童一人一人がオリジナルの絵を描き、親しみやすいものにした。

また、今年度はオリジナルの下敷きを作成し、児童に配布した。下敷きには、『エコ☆キッズ宣言』が印刷されている。下敷きは学習の際に必ず活用するものであり、児童が常にエコ意識を持てるようにした。

なお、来年度の新入生にも対応できるように、予備数作成してある。今後も継続して活動していきたい。



環境集会で、エコバッグを手にレジ袋を使わないで、エコバッグを使いましょうと呼びかける環境委員



1年生はレジ袋をもらって、裏面に布用クレヨンを使って、思い思いに絵を描きました。オリジナルのエコバッグができました。このバッグを使って、おうちの人と一緒に買い物をするのが楽しみです。



オリジナルの下敷き

来年度以降も使用できるように、児童の写真は使わなかった。キャラクターやエコ☆キッズ宣言を印刷し、親しみやすくまた児童が使いやすくした

【成果・課題】

ごみの分別は、本校ではもう常識となっている。一番たくさんごみが出るのは給食の時間だが、子どもたちは考えながらごみを捨てるようになっている。また、月に2回のリサイクルの日には、多くの家庭がペットボトルや空き缶を持ってきてくれる。これまでレジ袋に入れて持ってきたものが、自分で作ったエコバッグに入れて持ってくるようになった。そのことでごみを減らすこともできた。また、登校時に自分が作ったエコバッグに物を入れてくる子も多くなった。自分のオリジナルのバッグだけに大切にしようという気持ちも強い。